

# 宮城県農業高等学校

## 校訓 自啓



### 1 基本データ

創立：明治18年  
 課程・学科：全日制課程・農業科、園芸科、生活科、  
 食品化学科、農業機械科  
 生徒数 701名  
 所在地：〒981-1242  
 名取市高館吉田字吉合66番地  
 TEL：022-384-2511  
 FAX：022-384-2512

ホームページアドレス：https://miyanou.myswan.ed.jp/  
 電子メールアドレス：miyanou@od.myswan.ed.jp  
 主な交通機関：JR名取駅・JR南仙台駅より  
 乗合バス「なとりん号」宮農高前下車  
 名取駅から徒歩 30分、自転車 15分

※平成30年4月より新校舎に移転しました。

### 2 学校の特徴

#### キャッチフレーズ

- ㊦ 緑の地球を守る宮農生
- ㊧ やさしく人と接する宮農生
- ㊨ 農業を拓く宮農生
- ㊩ 美しい生き方を求める宮農生

#### (1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

創立は明治18年(1885年)で、133年の伝統があります。昨年度までは仮設校舎での学校生活でしたが、4月より新校舎に移転し、新しい環境で授業を行っています。仮設校舎で培った「奉仕の心」「感謝を力にする」ことを忘れず取り組んでいます。新しい環境でも進化する宮農生として、学業・部活動・農業・食料に向き合いながら課題解決に取り組む姿勢を志していきます。農業を志す学生とし自然を愛し、自然と向き合いながら、地域振興に貢献する志を養い、生命に向き合う優しさ、そして寮生活を通して協力の精神を培っています。

#### (2) 設置学科等

(過去3年間の学科コース別・前後期選抜別の出願者数・合格者数)

##### <前期選抜>

		H30	H29	H28
農業科	出願者数	146	149	120
	合格者数	48	48	48
園芸科	出願者数	44	47	52
	合格者数	16	16	16
農業機械科	出願者数	71	51	56
	合格者数	16	16	16
食品化学科	出願者数	42	54	38
	合格者数	16	16	16
生活科	出願者数	16	16	16
	合格者数	16	16	16

##### <後期選抜>

		H30	H29	H28
農業科	出願者数	106	127	91
	合格者数	72	72	73
園芸科	出願者数	46	27	41
	合格者数	24	24	24
農業機械科	出願者数	48	39	38
	合格者数	24	24	24
食品化学科	出願者数	28	35	36
	合格者数	24	24	24
生活科	出願者数	24	24	24
	合格者数	24	24	24

#### (3) 教育方針

「自然を愛し、心身ともに健康でたくましい生徒を育てる」ことを教育目標として、生徒は、「自らの力で自らの道をひらく」(校訓『自啓』)ことを学校生活の基本としています。部活動・寮生活・専門科目等の学習を通してこれらの実践に努めています。

#### (4) 教育課程の特色

専門科目の学習を深めるために、農業科・園芸科では「作物」「畜産」「植物バイオテクノロジー」「野菜」「果樹」「造園」「草花」について学習をします。農業機械科では、「農業機械」を含む「機械」の分野を専門的に学習します。また、食品化学科では、「食品製造」「食品流通」、生活科では、「生活経営」「生活福祉」の各類型に分かれて学習していきます。

2、3年生では「進学」「教養」「専門」等の進路に応じてコース別に選択科目を学習することができます。また、漢字検定、英語検定、毒劇物取扱者、造園技術検定3級、ビジネス文書実務検定、小型ボイラー取扱技能、危険物取扱者、ガス溶接技能教習、アーク溶接技能教習、販売士等の各種資格も取得できます。

#### (5) 行事・生徒会活動・部活動

特色ある行事として、5月の全校田植え、10月の宮農祭・収穫物に感謝をする収穫感謝祭、課題を設けて研究活動を行った成果について発表をする校内プロジェクト発表会などがあげられます。

生徒会活動は活発で、その活動は部・委員会活動だけにとどまらず、全校をあげて地域との連携を合い言葉に通学路及びJR名取駅の清掃などを行い、環境美化に努めています。

運動部では、甲子園予選ベスト4の実績を持ち、平成13年度の春の選抜高校野球大会の21世紀枠の東北代表候補に選ばれた硬式野球部をはじめ、インターハイ優勝の実績を持つウエイトリフティング部・ボクシング部・相撲部、東北大会に出場したソフトテニス部など、各部ともインターハイ等を目標とし、活発に活動しています。

文化部も演劇部、吹奏楽部、科学部、美術部、和太鼓部などが意欲的に活動しています。

全国の農業高校生が加入している学校農業クラブ活動では、常にプロジェクト発表、意見発表などの各種発表大会や家畜審査競技、測量競技、情報処理競技、農業鑑定競技などの技術競技会で好成绩をあげ、県内

の農業クラブ活動の拠点のみならず、東北地方の中心的地位を確立しており、全国大会でも優秀な成績を残しています。

また、大学や企業・地域と連携しての取り組みで生徒の学習範囲が広がり活躍する場面が多くなってきています。

#### (6) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	H29	H28	H27
国公立大学	1	1	2
国公立短大	0	0	0
私立大学	23	25	19
私立短大	13	10	5
専各学校	59	69	44
就職	130	122	135
その他	4	5	9
卒業生計	230	232	214

主な進路先(平成30年3月卒業生)

( )内は人数 (1)は省略。

<国公立大学>

帯広畜産大学

<私立大学>

東京農業大学(3)、酪農学園大学(3)、宮城学院女子大学、東北学院大学(2)、東北工業大学(4)、仙台大学(3)、東北文化学園大学、尚絅学院大学、石巻専修大学、福島学院大学、大阪芸術大学など

<私立短大>

仙台青葉学院短期大学(5)、聖和学園短期大学(2)、東北生活文化大学短期大学部、桜の聖母短期大学、郡山女子大学短期大学部、福島学院大学短期大学部など

<専修各種学校>

宮城県農業大学校(13)、葵会看護専門学校、仙台高等技術専門学校、宮城調理製菓専門学校、花壇自動車大学校、仙台医健専門学校、東日本医療専門学校、仙台こども専門学校、東日本航空専門学校など

<就職>

宮城県警察、自衛隊一般曹候補生、自衛官候補生、仙台農業協同組合、名取沼沼農業協同組合、みやぎ互理農業協同組合、独立行政法人家畜改良センター、株式会社鐘崎、山崎製パン株式会社、株式会社東北フジパン仙台工場、ニッカウキスキー株式会社仙台工場、アイリスオーヤマ株式会社、東北ゴム株式会社、JFEスチール株式会社仙台製造所、株式会社クボタ筑波工場、アルプス電気株式会社角田工場、株式会社南東北クボタ、ヤンマーアグリジャパン株式会社東日本カンパニー、有限会社佐藤園芸舞台アグリイノベーション株式会社など

### 3 入試情報

#### (1) 募集定員

農業科・園芸科	男女	120名
農業機械科	男女	40名
食品化学科	男女	40名
生活科	男女	40名

\* 農業科・園芸科は一括募集とする。

#### (2) 前期選抜について

##### イ 学科別の募集割合等

農業科・園芸科	定員の40%以内(48名以内)
農業機械科	定員の40%以内(16名以内)
食品化学科	定員の40%以内(16名以内)
生活科	定員の40%以内(16名以内)

##### ロ 出願できる条件 各学科とも

次の1及び2の条件に該当していることを自己アピールでき、さらに3の(1)又は(2)のいずれかの条件を1つ以上満たしている生徒

- 各学科の学習に強い興味・関心があり、将来の農業の担い手・地域の担い手や農業関係等への進学・就職を目指している生徒
- 基本的な生活習慣が身に付いており、入学後も明確な目的を持って生活できる生徒

- (1) 全教科の基礎学力が身に付いており、一日体験入学や学校訪問等に参加し、本校の農業学習に対する強い意欲を自己アピールできる生徒
- (2) 部活動や校外活動に意欲的に取り組み、リーダーシップを発揮して活躍した実績を自己アピールできる生徒

##### ハ 学力検査 各学科とも国語、数学、英語 各50点

##### ニ 学校独自検査 各学科とも

個人面接(配点75点)15分程度  
個人面接は、中学校時代の活動体験や高校入学後の目標及び、実習や寮生活の心構えについて問う。

#### (3) 後期選抜について

##### イ 学科別の募集人数

農業科・園芸科	72名(予定)
農業機械科	24名(予定)
食品化学科	24名(予定)
生活科	24名(予定)

##### ロ 面接・実技の有無 各学科とも 集団面接

##### ハ 傾斜配点の有無 各学科とも なし

##### ニ 調査書点と学力検査の比重 各学科とも 5:5

##### ホ 学科の第二志望 該当あり

出願学科以外のいずれか1つの学科を第2志望とすることができる

#### 我が校のPRポイント

- 生きた教材を使い、いのちに直結する授業  
牛や豚を飼育し、イネやダイコン、メロン、リンゴ等を栽培しながら、私たちの生きる糧、いのちについて学びます。
- 農場(畑)から家庭(食卓)まで  
栽培・飼育から、加工品の製造、マーケティング、家庭生活・福祉、農業機械の構造等、学習範囲が多岐にわたっています。
- 地域の課題に挑戦  
遺伝資源の保護、環境保全、自然エネルギーの活用など、現在社会の諸課題について、地域に飛び出して学びます。
- 産官学民との連携  
外部と連携した授業を展開することで、最新の技術(IoT・ICT・スマート農業の活用・職人から技術の継承)を学習し、6次産業化を目指しての取り組みを行うことで地域を担う人材を育成します。
- 文部科学省から指定を受けたSPHの実績  
農業教育と進路実現に向けた活動を生徒・職員一丸となって実践した実績として、生徒会活動はもちろん農業クラブ活動においても好成績を挙げ、各コンテストにおいても多くの生徒がチャレンジし多くの賞を受賞しています。

#### (4) 平成30年度転編入学試験について

(7月以降分)

日程	対象学年	試験科目等
平成30年 8月 1日	全学年	国語・数学・英語・面接
平成30年 12月 5日	全学年	国語・数学・英語・面接
平成31年 3月 22日	新2・3年	国語・数学・英語・面接

### 4 写真で見る学校生活



(平成30年4月より新校舎へ移転)



(新圃場での全校田植え)



(制服『スーツタイプ』)



(農業科 畜産 実習風景)



(園芸科 ICT活用についての説明)



(生活科 仙台白菜について交流事)



(食品化学科 技術講習会)



(農業機械科 実習風景)